

赤坂タワーレジデンス トップ オブ ザ ヒル

部門賞 大規模緑化部門

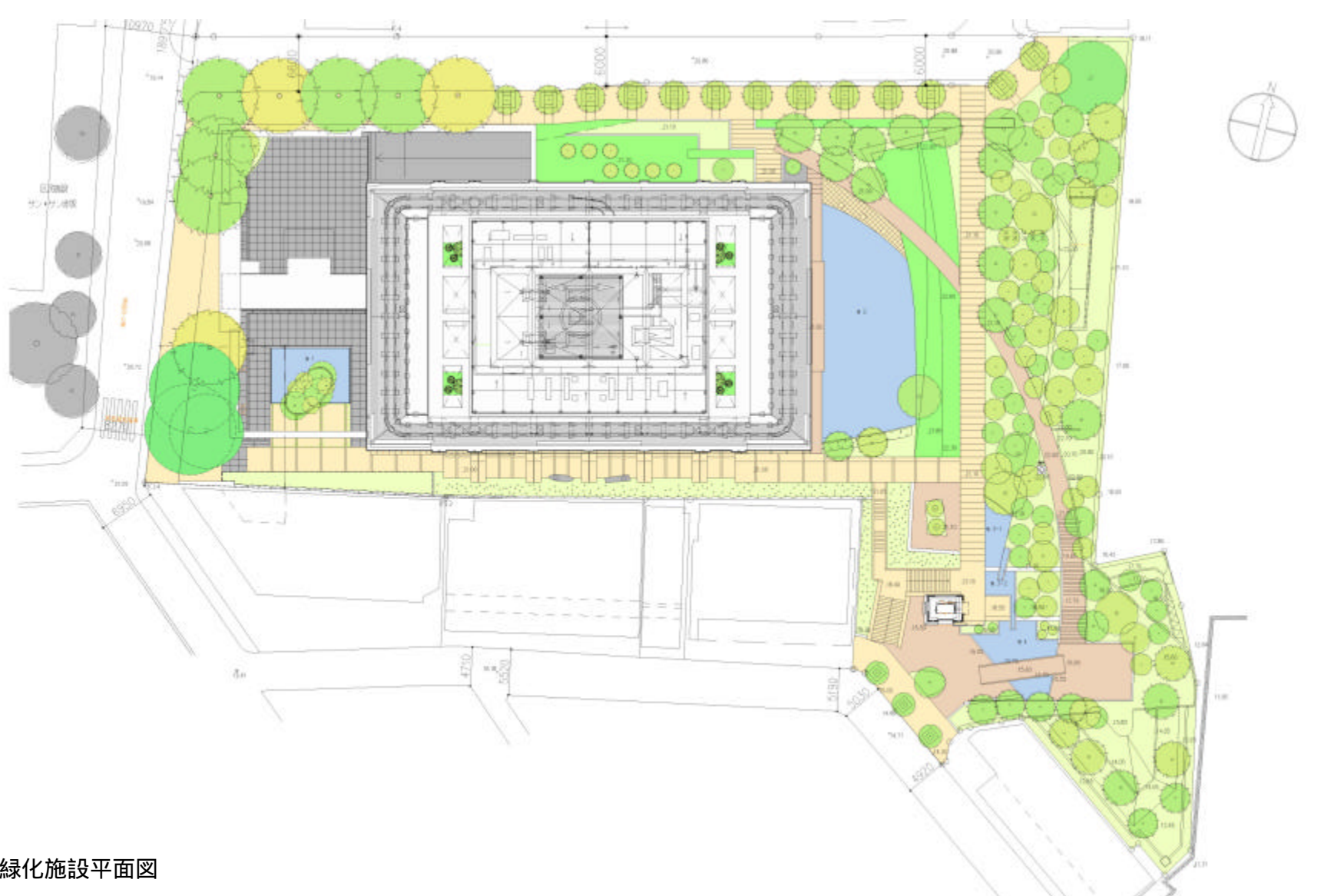
応募者によるプレゼンテーション

本計画地はふたつの特徴を持つ。ひとつめは、かつて九条宮邸であったという江戸時代からの歴史が濃厚に積み重ねられた土地であるということ。ふたつめは、東京山の手の特有の地形である丘と谷の境界線に位置するということである。江戸時代は100万人都市でありながら、徹底的な資源循環のシステムができあがり、また屋敷や藩邸は各々庭を持ちその文化の高さを誇っていた。現代の目から見てもまさに環境配慮型都市であったと言える。

私たちは住宅をつくるにあたり、上記の江戸文化を踏まえ「現代の屋敷林」の創造をめざした。また、丘と谷の境界線という場所は東京における特別な場所で、そこにある自然は大切に守られてきた歴史がある。失われた境界線の斜面緑地を再生することで、その土地が元来持つポテンシャルの回復を目指す。こうしてできた住宅の庭は市民にも開放され、継続した維持管理を通じ、都市における大切な緑のインフラストラクチャーになることを確信している。

受賞者

株式会社竹中工務店
株式会社サンウッド
東急不動産株式会社
森ビル株式会社
株式会社日建ハウジングシステム
赤坂タワーレジデンス トップ オブ ザ ヒル管理組合



緑化施設平面図



建物西側メインエントランス前の広場



建築地南西からの航空写真



建物東側丘の上の池（水鏡）



建築地南側林の中を流れ落ちる滝